

【楽²運転システム活用事例】

統合運用支援システム

FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

背景と問題点

担当者の経験やノウハウに大きく依存する業務運用



キーパンチャー

パンチ依頼
(期限、ファイル名)
パンチスケジュール

オペレーション手順
や事後処理の指示
マシンスケジュール

指示ミス、う
っかり忘れ



オペレータ

最新ドキュメント
はどれ？

搬入・配送の指示
(コース、時刻、担当者)

担当替え、引
継ぎが大変！

担当者

MTや用紙の出庫指示
(場所、I/O)

ライブラリアン

デリバリ



- ・スケジュール管理
- ・指示書の記入、保管
- ・パラメータの修正
- ・納品物の確認、品質検査
- ・データ件数の記録
- ・用紙の在庫管理、発注
(管理者)
- ・パンチスケジュール
- ・マシンスケジュール



FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

ジョブ自動化から更に進める

- ・ジョブ実行の前工程、後工程の効率化も実現したい

楽²運転ジョブスケジュールの有効活用

- ・ジョブスケジュールを基準として、前工程・後工程のスケジュールを相対的に管理できるのではないか
- ・楽²運転APIを利用してジョブスケジュールを自動取得

MT世代管理システムが後押し

- ・MT出庫指示の自動化実現（本日使用する予定の全MTのVOL通番情報を自動的に取得）



業務運用全工程のスケジュール管理



運用ドキュメントのDB化

- ・ 入出力帳票、データ件数、ファイル情報、用紙事後処理仕様
- ・ MT入出力、オペレーション関連情報
- ・ パラメータ (SYSIN)
- ・ 納品、搬入 (デリバリ情報)

運用ノウハウの可視化

- ・ 担当者の頭の中にある情報をできるだけオープンにしたい

実績検索を容易にする

- ・ 過去の処理実績の検索 (スケジュールの照会)
- ・ GSホストとの連携により実績データをDB化 (ジョブ実行状態、パンチ件数、用紙使用枚数、データI/O件数)

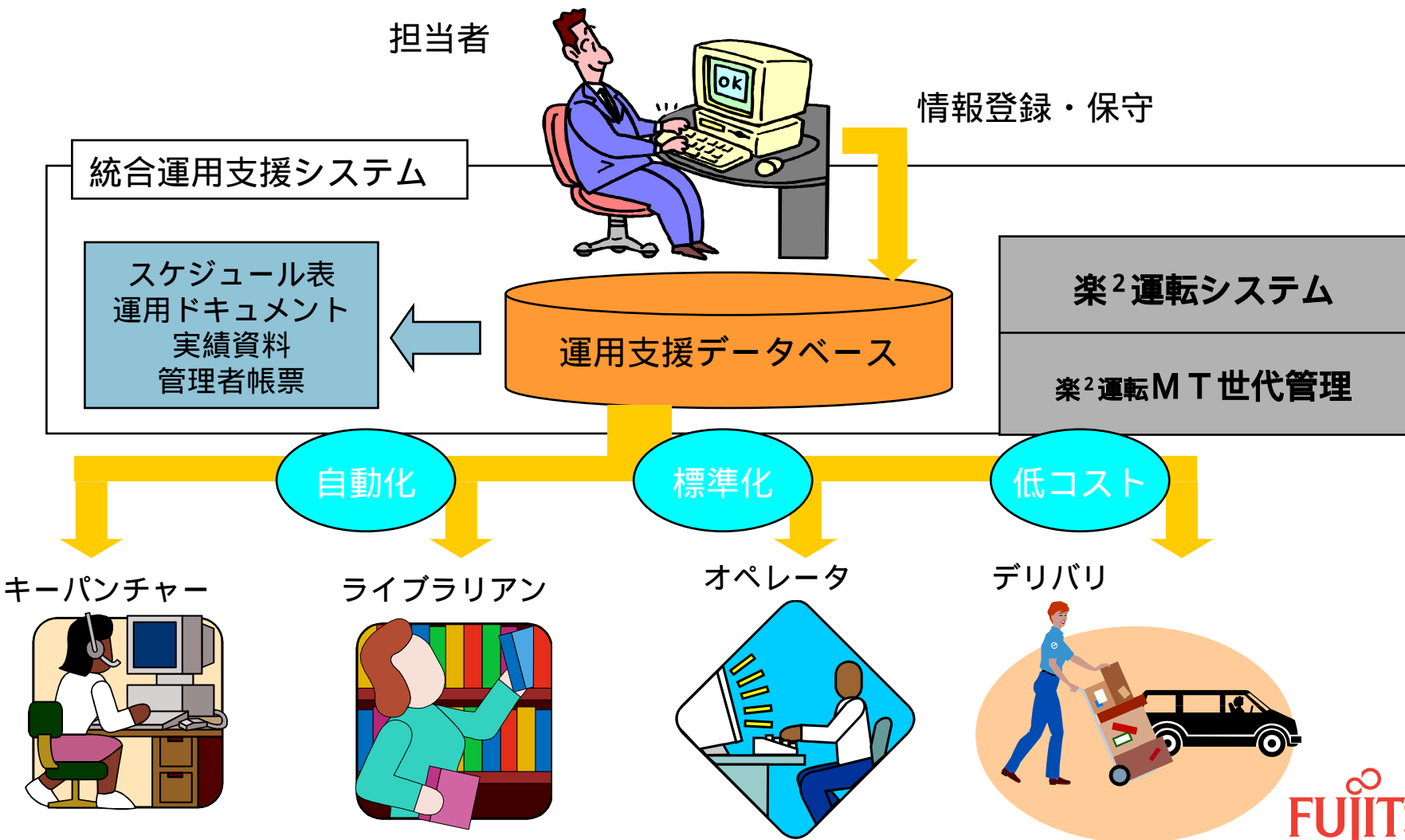
標準化

担当者が替わっても品質低下しない業務運用



ソリューション

運用情報を蓄積し、データベースとして利用可能にする

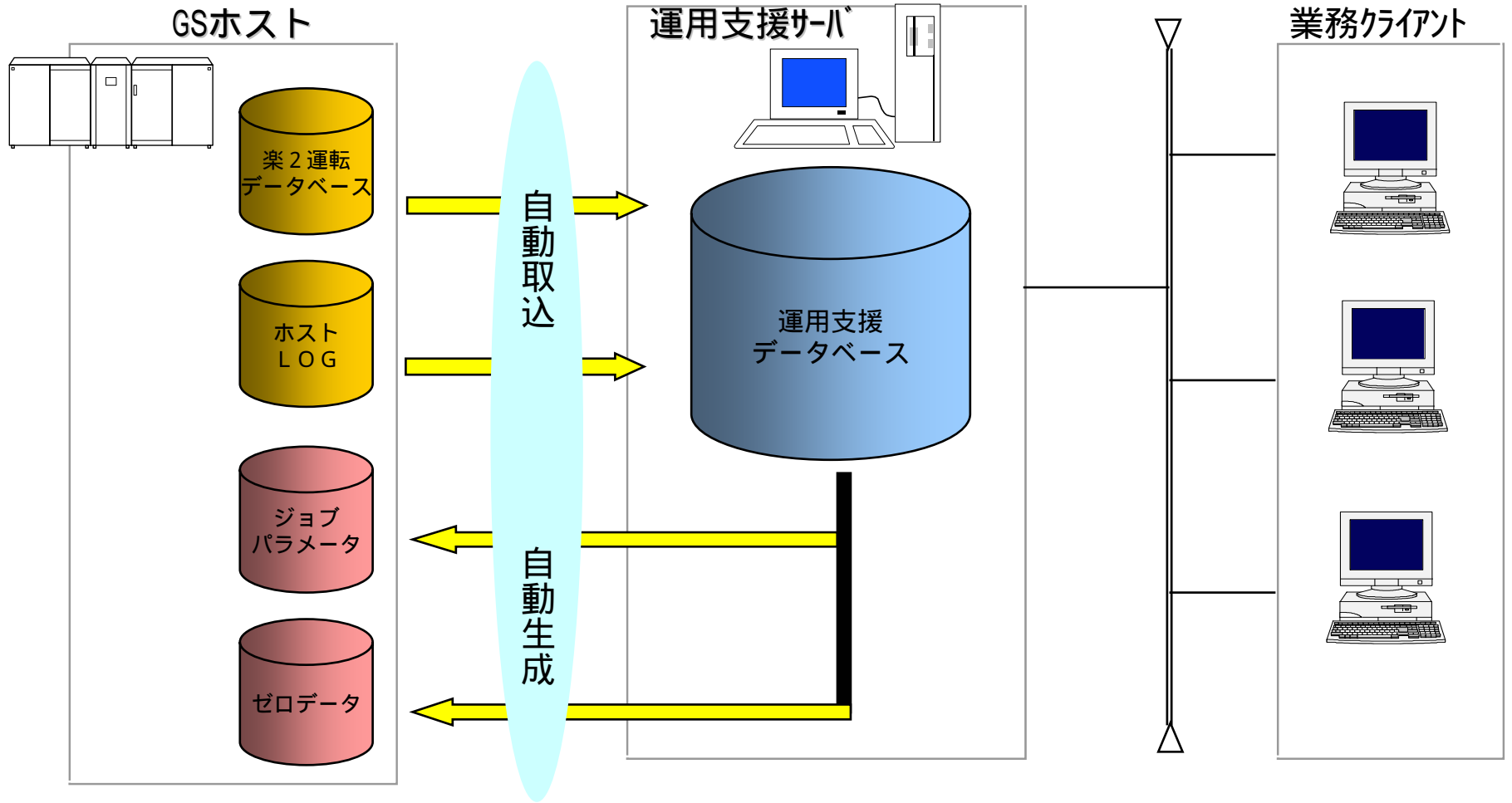


FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

システム概要(1)

物理イメージ



G Sホスト(楽2 運転システム)

長期スケジュール
ジョブネットAを
11月21日
に処理する

C / S (統合運用支援システム)

ジョブネットAに関する業務仕様

- ・パンチデータは前日に搬入
- ・翌日午後3時まで納品
- ・出力帳票、事後処理仕様
- ・オペレーション手順
- ・使用MT (世代グループ名)
- ・パラメータ (振込日は翌月1日)

C / S

(統合運用支援システム)

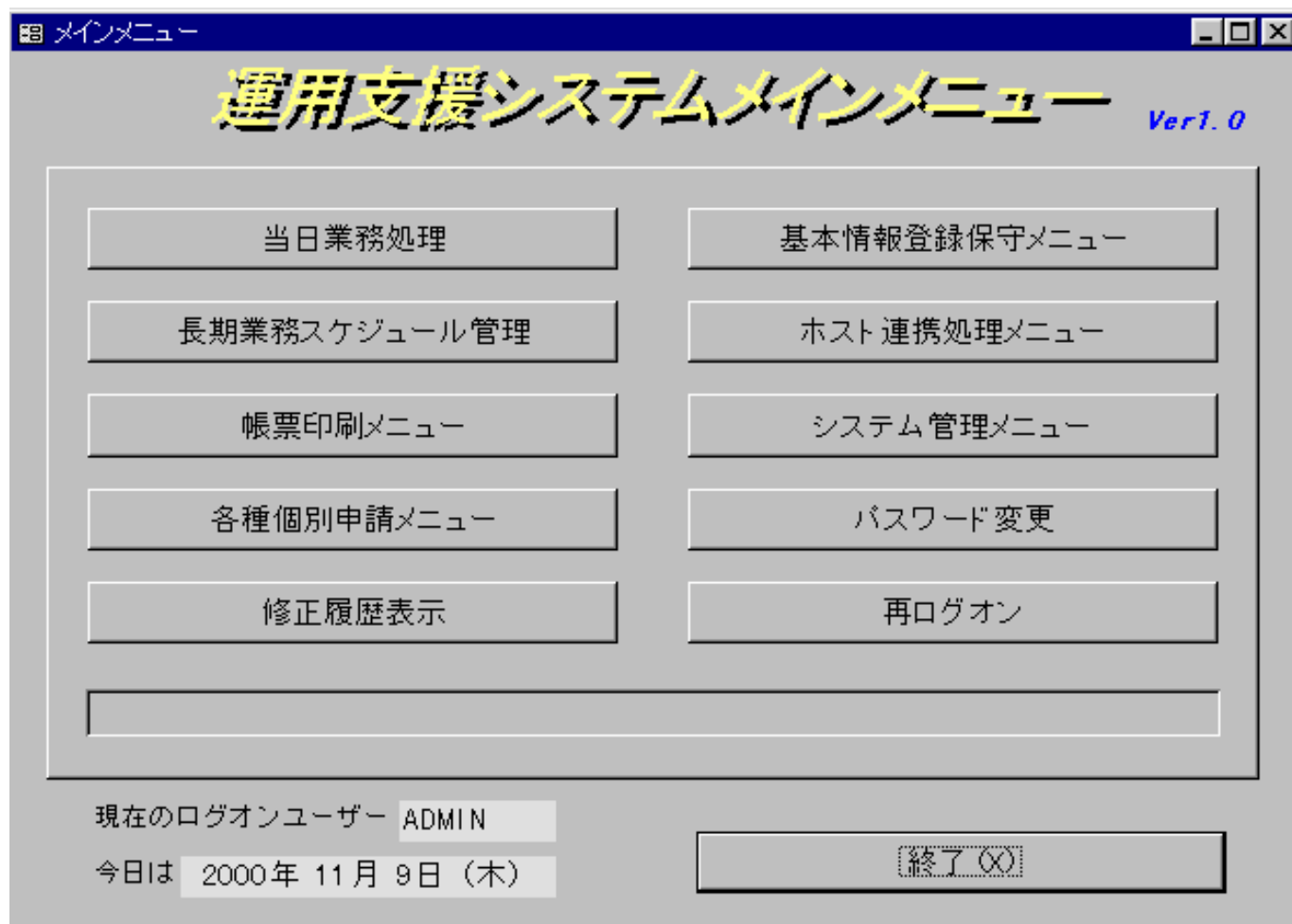
ジョブネットAの業務スケジュール

- ・パンチデータは11月20日に搬入する
- ・11月21日にマシン処理をする(楽2 運転)
- ・11月23日午後3時までに納品する
- ・納品物一覧
- ・使用MT (VOL通番)
- ・振込日は12月1日

メンテナンス



メニュー画面イメージをご覧ください



ゼロデータ生成機能

- ・パンチデータの有無によらず、ジョブ構成やパラメータを固定化する

パラメータチェック機能

- ・前回使用したパラメータとの内容比較チェックリストを出力する

MTボリューム情報管理機能

- ・MTボリュームの登録&保守機能 世代管理システムへ反映

実績管理

- ・用紙在庫管理、発注支援
- ・パンチ件数実績照会

その他帳票

- ・パンチスケジュール表、マシンスケジュール表
- ・年間業務スケジュール表、個人スケジュール表など
- ・入出力表管理台帳、MT台帳、パラメータ仕様書など

その他

- ・MTL排出JCL自動生成

登録情報の精度向上

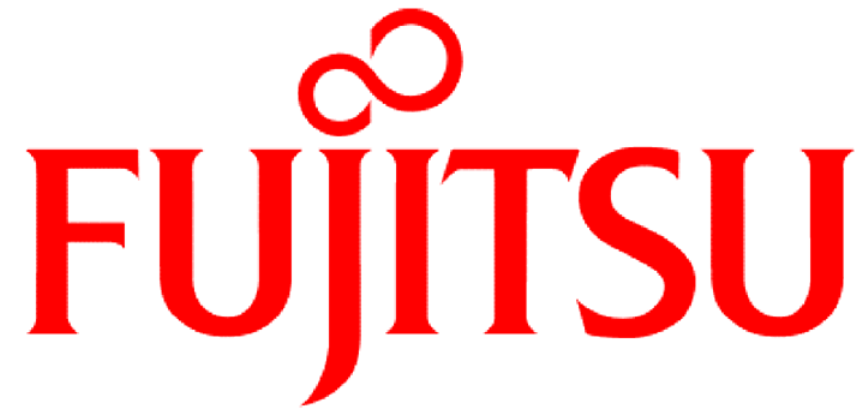
- ・データの精度が運用の品質に直接影響

M T 世代管理の標準化

- ・自動化できるよう世代の持ち方の見直しが必要
- ・適用業務数のアップ

品質チェック機能の強化

- ・品質をチェックする際のアナログ的情報
(担当者の頭の中にあるもの)



FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE